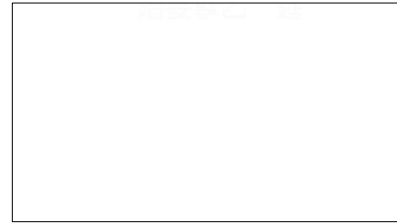


エフェクトの例

エフェクトを使ってみよう



新規プロジェクトの作成と素材読み込み

- 新規プロジェクトを作ろう
 - プロジェクト名：effect練習
- 素材を読み込もう
 - 背景素材：pink01.jpgまたはpink02.jpg
 - 花びら素材：花びら.png

新規コンポジションの作成



名前：0608エフェクト練習
プリセット：
HDV/HDTV 720 29.97
デュレーション：15秒
背景色：ホワイト

背景の設定(復習)

- トランスフォームで動きと不透明度を設定しよう。
 - 位置：0秒と15秒にキーフレーム。
X座標の値を少し変える。
 - 不透明度：
 - 0秒と15秒に不透明度0のキーフレーム。
 - 1秒と14秒に不透明度100のキーフレーム。

テキストの追加(復習)

- 「学習院女子中高等科」と入力
- 「ウィンドウ」→「整列」を開いて、中央に配置
- 好きなフォント、90pxくらい
- 「ウィンドウ」→「エフェクト&プリセット」を開いて、

アニメーションプリセット→Text→Animate In→文字の雨(イン)

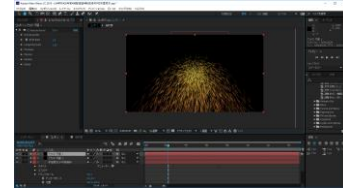
をテキストにドラッグアンドドロップ

テキストアニメの調整

- プリセットアニメの調整
 - テキストソースのオプションを展開
 - テキスト→アニメーター→範囲セクター1を展開
 - オフセットのキーフレームを動かして、出現時間を調整
 - トランスフォームで追加調整
 - スケールをプリセットアニメが終わる少し前と15秒にキーフレーム。
- 開始が100%、15秒が120%で設定。
- 不透明度を12秒あたりが100%、13.5秒あたりが0%で設定

桜吹雪を作ろう。

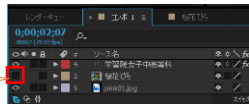
- エフェクトのシミュレーション「particle world」を使う
- 噴水や花火、彗星の尾、吹雪などが作れる



花びらコンポを作ろう

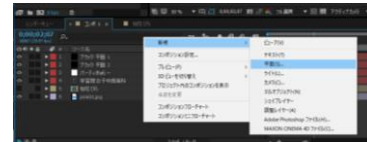
- ParticleWorldで読み込むための花びらの画像のみのコンポジションを作ろう
- コンポジション→新規コンポジション
 - コンポ名：桜花びら
 - サイズ：カスタム 300px×300px
- 花びら.pngを読み込んで、はみ出ない程度の大きさに調整
- 完成したコンポ「桜花びら」をコンポ「0608練習」に配置する
 - 配置した後、非表示にする

クリックして
非表示に。



エフェクト用の平面素材を作成

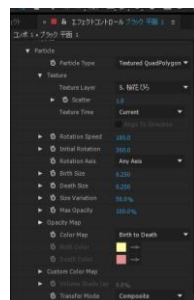
- タイムライン上で右クリック→新規→平面...をクリック
 - 名前はテキストに「パーティクル」とか・・・



- 作成したソース「パーティクル」を選択
- アニメーション→シミュレーション→CC Particle World

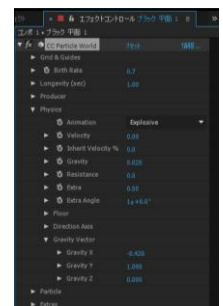
エフェクトの設定 1：

- 飛び出す粒子の形や色の設定をする
 - Particle Type：Textured QuadPolygon
 - Texture/TextureLayer：桜花びら
- Max Opacity：100%



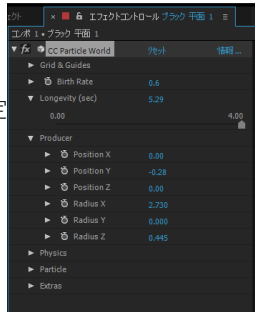
エフェクトの設定 2：

- 物理演算の設定。はじける方向などを調整する。
 - Velocity：0
 - Gravity：0.02くらい
 - GravityVector/GravityX：-0.5くらい



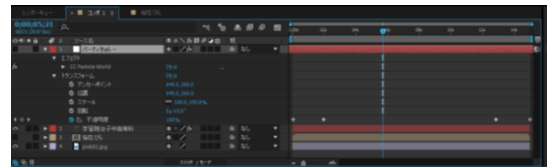
エフェクトの設定3 : Producer, Longevity & BirthRate

- **Producer**→粒子の放出点の設定
 - Position (X,Y,Z) = (0,-0.3,0)
 - Radius(X,Y,Z)=(0.6,0,0.5)
- **Longevity**→粒子の消えるまでの時間
 - 5~6秒くらいに
- **Birth Rate**→放出量
 - 0.6くらい



トランスフォームで微調整

- 最初から全体に降らせたい人はタイムラインをずらす。
- 不透明度を前後1~2秒くらいで調整。



今日の課題

- エフェクトを使うレクチャー動画を見ながら実践した映像を作ってみよう。
- 「aftereffects 文字 キラキラ」「光る文字」「炎」などと検索すると、いろいろ出てくるかと！
- 前回の動画と合わせて、ホームページを更新しておこう。